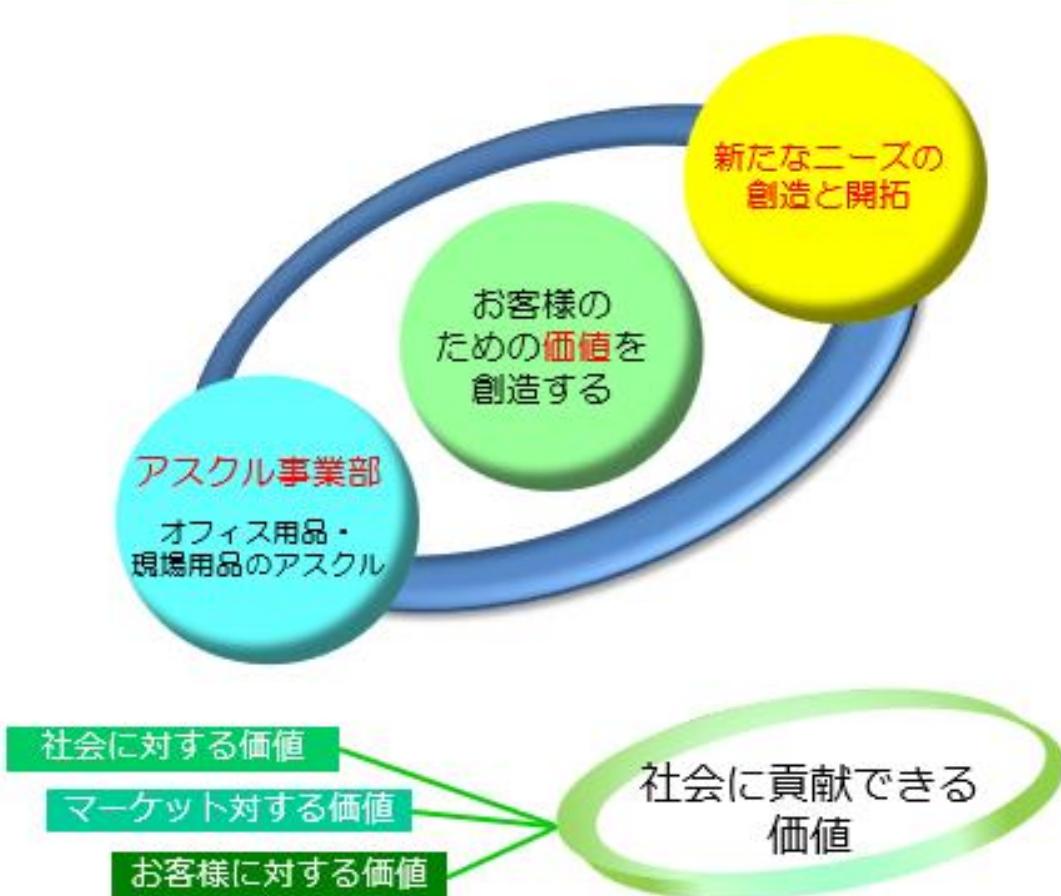


株式会社 田中文栄堂

2022 年度 環境経営レポート

事業年度：2022 年 8 月～2023 年 7 月



発行 2023年8月21日



株式会社 田中文栄堂

弊社は大正10年創業以来、文房具・事務用品の販売を通じて「お客様のための価値を創造する」を経営理念に発展してまいりました。21世紀に入り企業を取り巻く環境の変化は加速度を増し、またネット社会を迎えて新しいマーケットを創造するため従来の店舗販売専門から通販事業へと軸足を移してまいりました。

フロンティアスピリットの精神で「オリジナル」をキーワードに、新しいマーケットを創造するため常に独自の新規事業を立ち上げる努力を続けています。「何よりもお客様を大切に」を行動指針として、一流の商品と本物のサービスを提供することに挑戦しています。

人材の育成についても、目標と危機感を共有し環境変化に適応するための＜戦略の立案＞を第一義に「自ら考え、自ら企画し、自ら実行できる人材」の要請をモットーにしています。また、雇われて働く、と考えている人ではなく、経営者を目指す人に育って欲しいと願っています。

激変する時代の流れの中で、企業理念を基礎にして社会貢献を果たすため高い理想と志を掲げた企業としての発展を目指しています。社会とお客様に喜ばれ、必要とされる企業を目標に＜最大の努力＞をする所存であります。

今後ともより一層皆様のご指導ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

環境経営方針

株式会社田中文栄堂は、地域社会の一員として環境保全が重要課題であることを踏まえ、エコアクション21の認証取得を通じて、すべての事業活動において
自主的・積極的に環境保全活動に取り組む事により、環境との共生・調和に努めます。

当社の事業活動における環境負荷の低減のため、行動指針を次のように定めます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 以下について具体的な環境目標を定め、実施計画を立て、継続的改善に努めます。
 - ① 脱地球温暖化社会のための省エネルギーに努めます。
 - ② 循環型社会の構築に向けて、廃棄物の排出抑制に努めます。
 - ③ 事業所内の節水に努めます。
 - ④ 環境配慮製品の販売に努めます。
 - ⑤ 社員教育を通して、より良い職場環境づくりに努めます。
3. 当社の社員全員にこの環境方針を周知するとともに社外にも公開します。

2007年12月21日（制定日）

2019年9月20日（改訂日）

代表取締役

田中 紳一郎

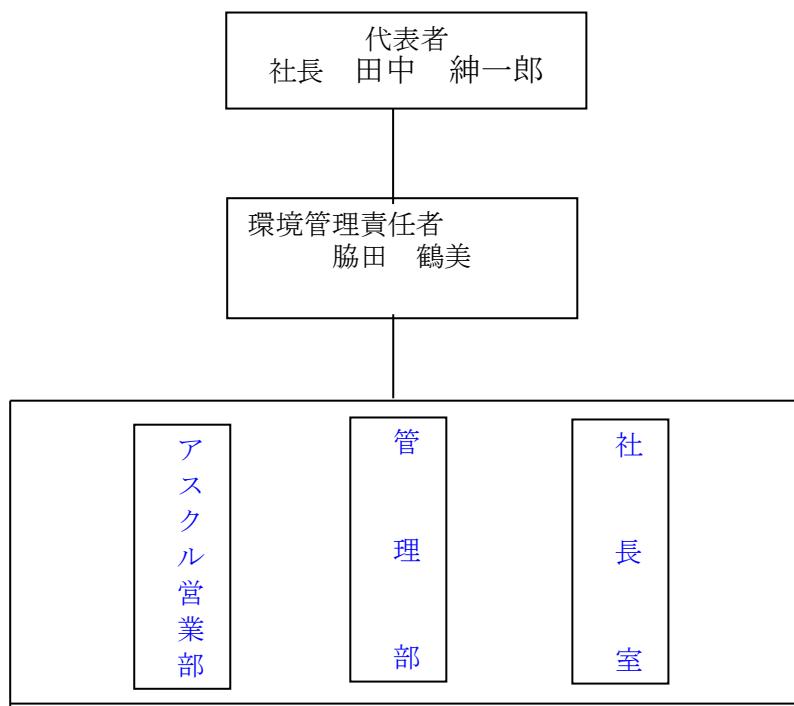
□登録事業所の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
株式会社 田中文栄堂
代表取締役 田中 紳一郎
- (2) 所在地
〒544-0023 大阪市生野区林寺 3-1-6
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
アスクル営業部 脇田 鶴美
連絡先 06-6731-0515
- (4) 事業内容（認証・登録の範囲）
文具事務用品・オフィス用品の販売
- (5) 事業の規模
製品出荷額 20 億円／年（2021 年度実績）
従業員 7 名
延べ床面積 165 m²
- (6) 事業年度 会計年度 8 月～翌年 7 月

作成日：2007年12月21

変更日：2022年4月1日

株式会社 田中文栄堂 環境経営システム組織図

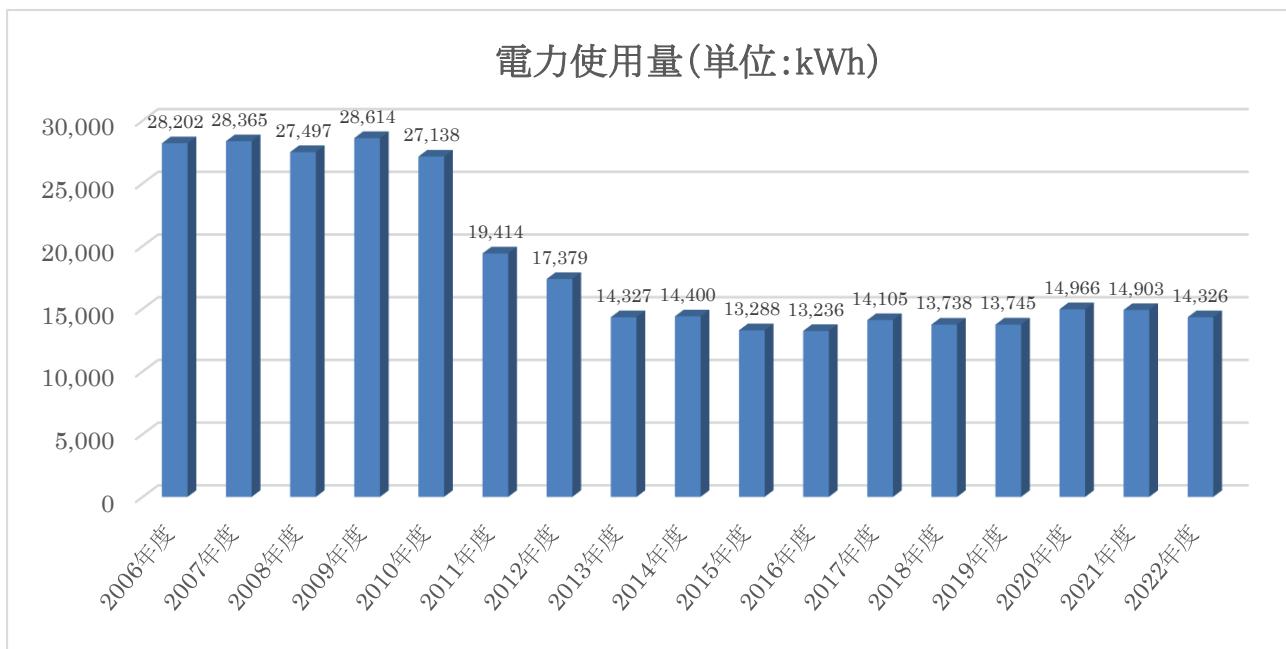


	役割・責任・権限
代表者（社長） 田中紳一郎	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技術者を用意 ・環境管理責任者を任命する。 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しの実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者 脇田鶴美	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムを構築し、実施し、管理 ・法規制等の要求事項登録簿の取りまとめ・順守評価 ・環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 ・環境活動実施計画書の作成 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境活動実施計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・各部門における環境経営システム実施の指示 ・各部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・各部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・各部門の問題点の発見、是正、予防措置の実施及び記録
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

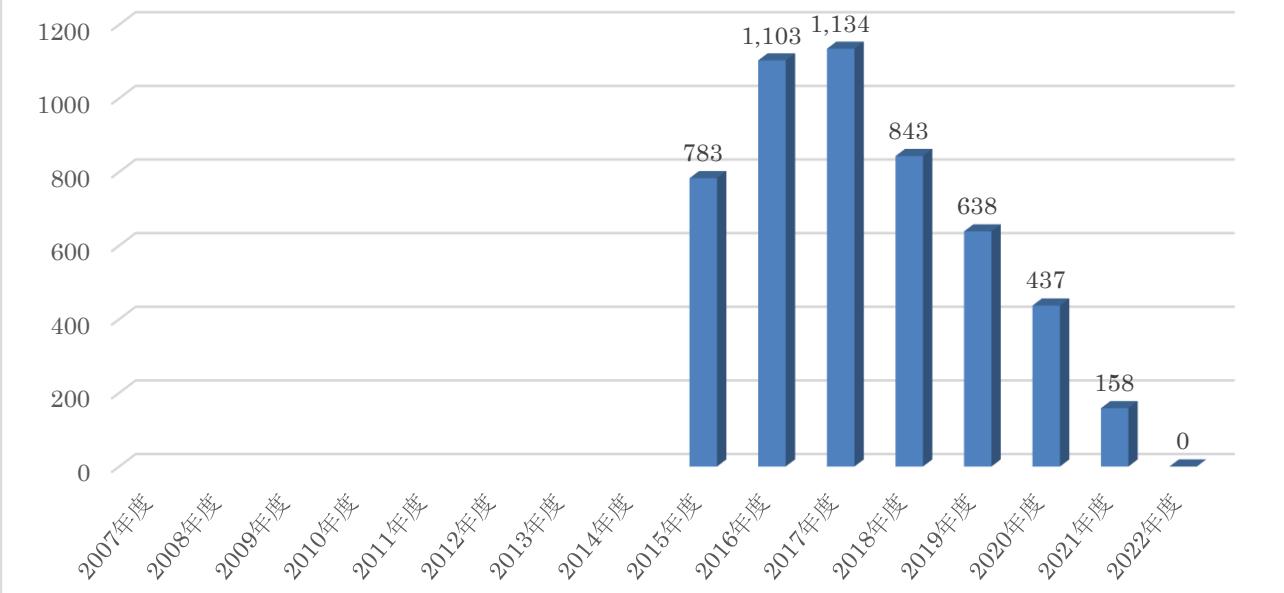
□主な環境負荷の実績

項目	単位	基準年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
電力使用量	kWh/年	28,202 (2006年)	13,236	14,105	13,738	13,745	14,966	14,903	14,326
電力の二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	9,419 (2006年)	4,420	4,711	4,588	4,590	4,999	4,978	4,785
自動車燃料使用量	ℓ/年	783 (2015年)	1,103	1,134	843	638	437	158	0
自動車燃料の二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	1,819 (2015年)	2,561	2,634	1,957	1,482	1,015	368	0
CO2排出量合計	kg-CO2/年		6,981	7,345	6,545	6,072	6,014	5,346	4,785
廃棄物排出量	kg／年	650	312	326	249	221	205	193	184
		(2006年)							
一般廃棄物排出量	kg／年	650	312	326	249	221	205	193	184
産業廃棄物排出量	kg／年	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し
総排水量	m³／年	248 (2006年)	98	85	79	78	83	80	71

(注)・電力のCO2排出係数は、0.334kg-CO2/kWh（関西電力の調整後排出係数（平成30年度実績））

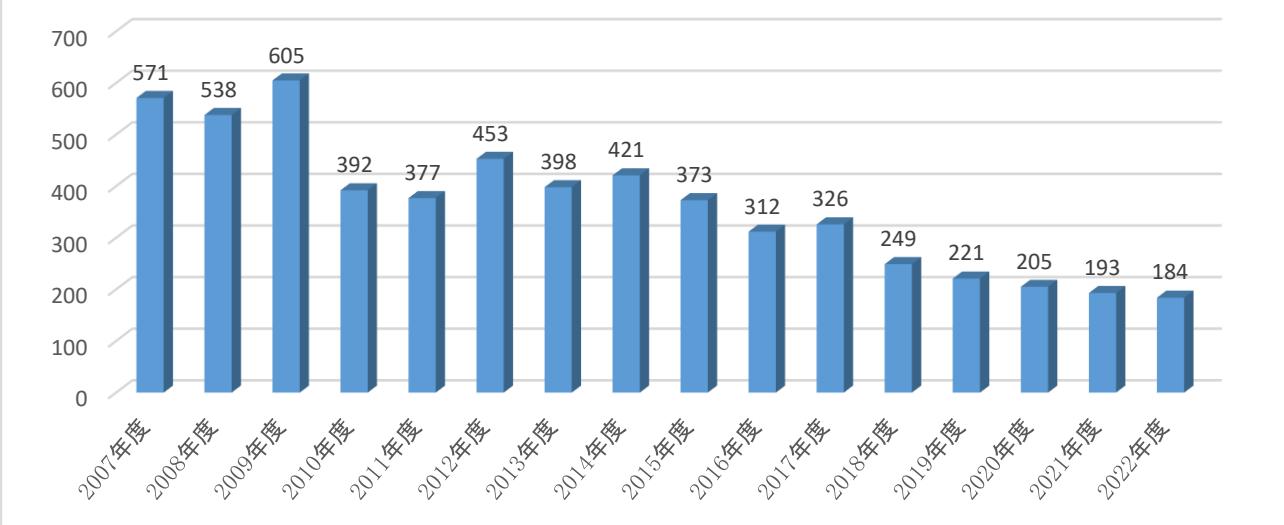


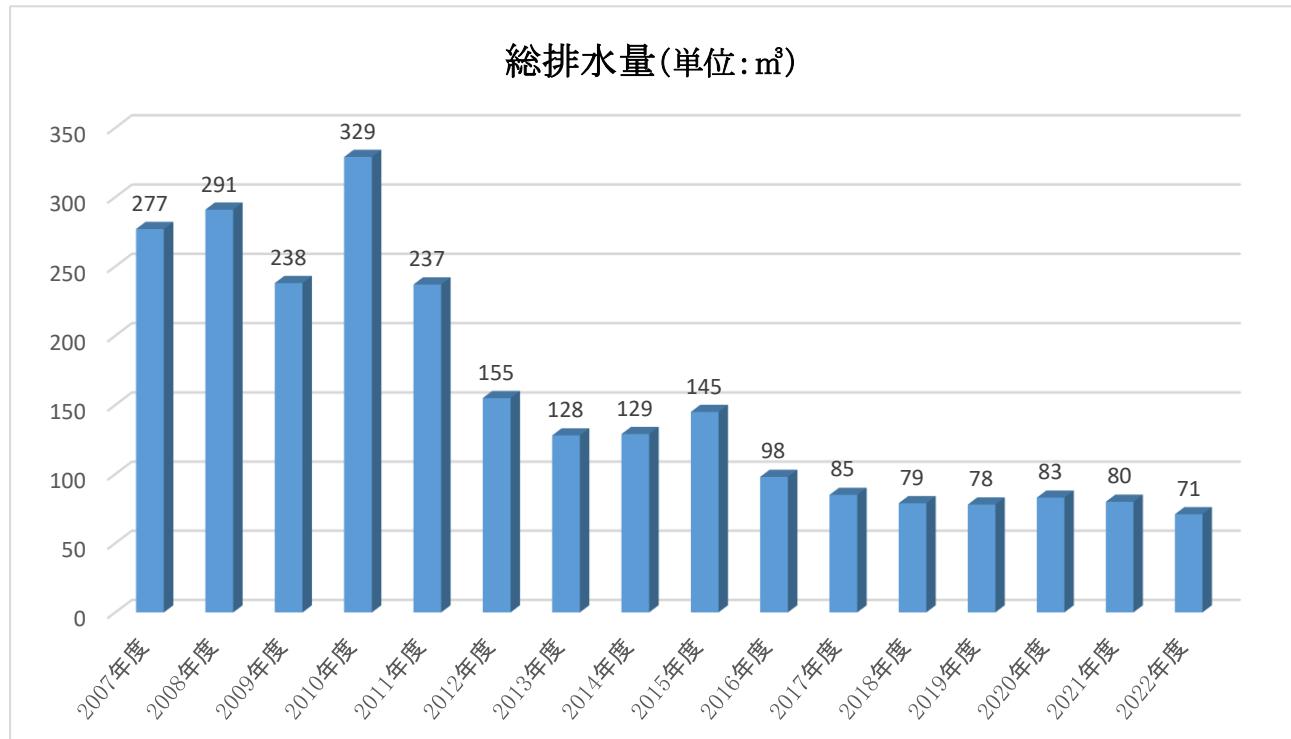
自動車燃料使用量(単位:ℓ)



※2021年度一部事業譲渡の為、営業車廃止。

一般廃棄物排出量(単位:kg)





□環境目標及びその実績

(註 1) 電力の CO₂ 排出係数は、0.334kg-CO₂/kWh (関西電力の調整後排出係数 (平成 30 年度実績)

※自動車燃料の削減目標については、営業車の廃止により 2022 年度より目標から外します。

※環境配慮製品の販売目標額については、営業部の一部事業譲渡などにより 2022 年度から販売目標額を見直ししています。

項目	年度 基準年度	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2023年	2024年	
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	9,419	4,420	4,711	4,588	4,591	4,999	4,978	4,898	4,785	4,804	4,710
	(2006年)	(53.0% ↓)	(49.9% ↓)	(51.2% ↓)	(51.2% ↓)	(46.9% ↓)	(47.1% ↓)	(48.0% ↓)	(49.0% ↓)	(49.0% ↓)	(50.0% ↓)	
自動車燃料の削減	kg-CO ₂	1,819	2,561	2,634	1,957	1,482	1,015	368				
	(2015年)	(40.7% ↑)	(44.8% ↑)	(7.5% ↑)	(18.5% ↓)	(44.2% ↓)	(79.8% ↓)					
一般廃棄物の削減	kg/年	650	312	326	249	221	205	193	188	184	182	176
	(2006年)	(48% ↓)	(49.8% ↓)	(61.6% ↓)	(66.0% ↓)	(68.4% ↓)	(70.3% ↓)	(71.0% ↓)	(71.7% ↓)	(72.0% ↓)	(73.0% ↓)	
節水	m ³ /年	248	98	85	79	78	83	80	79	71	77	74
	(2006年)	(60.4% ↓)	(65.7% ↓)	(68.1% ↓)	(68.5% ↓)	(66.5% ↓)	(67.7% ↓)	(68.0% ↓)	(71.4% ↓)	(69.0% ↓)	(70.0% ↓)	
環境配慮製品の販売	百万円	601	829	829	821	792	770	720	617	642	623	629
	(2009年)	(37.9% ↑)	(38.0% ↑)	(36.6% ↑)	(31.7% ↑)	(28.1% ↑)	(19.8% ↑)	(5.0% ↑)	(9.1% ↑)	(6.0% ↑)	(7.0% ↑)	
グリーン商品の購入	万円	8.7										
	(2009年)											
% (比率)	50.4	34.9	30.9									
	(2014年)	(30.7% ↓)	(38.6% ↓)									

□環境活動の取り組み計画と評価

取り組み計画	達成状況		単位 基準年度比	評価(結果と今後の方向)
	基準年度	実績		
電力の削減	基準年度 目標 実績	9,419 4,898 4,785	kg-CO2 48.0%削減 49.0%削減	目標達成 異常気象も多いですが、 社内の協力により目標達成。
一般廃棄物の削減	基準年度 目標 実績	650 188 184	kg 71%削減 71.7%削減	目標達成 社内の協力で目標達成。 努力を続けます。
出来る限り有価物にする				
節水	基準年度 目標 実績	248 79 71	m³ 68%削減 71.4%削減	目標達成 在宅勤務も始まり、使用量が抑えられた。
環境配慮製品の販売	基準年度 目標 実績	588 617 642	百万円 5.0%増加 9.1%増加	目標達成 自社の売上増、商品値上げに伴い、販売額増加。

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される施設、遵守事項等	遵守評価
廃棄物処理法 紙、廃プラ、缶の分別の徹底、排出量の削減		○
大阪市資源化可能な紙類の焼却工場への搬入禁止について 新聞、段ボール、雑誌、OA紙、シュレッダー紙、その他の紙の焼却工場への搬入禁止		○
フロン排出抑制法 業務用エアコン 2 台 (簡易点検)		○
家電リサイクル法 TV 2 台、冷蔵庫 1 台、エアコン 3 台		○
資源有効利用促進法 パソコン 11 台		○
消防法 消火器 2 台 火災報知機 1 台 維持・管理		○

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去 3 年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

□ 代表者による見直し

2023年8月1 代表取締役 田中紳一郎

- ・環境方針 ○
- ・環境目標 ○
- ・環境活動計画 ○
- ・実施体制 ○

社員の協力により目標達成となった。

来期も環境負荷低減の為、全員で引き続き取り組みます。

以上